

令和3年5月定例教育委員会会議録

令和3年4月27日 定例熊谷市教育委員会を熊谷市立商工会館2-3会議室に招集する。

○ 出席者

野原 晃、大石 聡一、加藤 道子、松島 佳代子、齋藤 洪太

○ 出席事務局

教育次長	鯨井 敏朗
教育総務課長	長谷川 和博
学校教育課長	爪川 由美子
社会教育課長	三友 孝二
社会教育課文化財保護・ 市史編さん担当副参事	吉野 健
教育総務課副課長	浅見 弘江
教育総務課主任	吉場 美和

13時30分 5月定例教育委員会開会

教育長が、令和3年5月定例熊谷市教育委員会の開会を宣言し、本会議の会議録の署名人に松島委員を指名した。

事務局から傍聴希望者がいない旨の報告があった。

3月臨時教育委員会及び4月定例教育委員会の会議録については出席委員全員の承認を得た。

日程第1（報告第5-1号）寄附申出について

教育総務課長から、ふるさと納税「熊谷教育の推進のため」として、3月11日から4月10日までに1件16,000円、また、社会教育の推進のためとして、匿名の方より、中央公民館に、書籍「ひとすじに我が道を行く」32冊の寄附申出があったとの報告があった。

日程第1（報告第5-2号）5月教育委員会行事予定について

教育総務課長から、次回6月定例教育委員会は、学校での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、市役所内会議室に会場を変更して、開催するとの説明があった。

また、大里地区教育委員会連合会と埼玉縣市町村教育委員会連合会の総会は、どちらも書面決議による開催方法に変更になったことが説明された。

日程第1（報告第5－3号）令和4年熊谷市成人式開催要領について

社会教育課長から、令和4年熊谷市成人式は、1月9日（日）に開催予定で、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、式典時間の短縮と規模を縮小しての開催となる旨の説明があった。

対象者は、平成13年4月2日から平成14年4月1日生まれの方で、民法改正により、令和4年4月から、成人年齢が18歳となるが、成人式の対象を18歳とした場合、大学受験と重なることや、年齢引下げを望む意見が少ないこと等から、引き続き、20歳を対象に成人式を行うとの説明がされた。

なお、今後の感染状況によっては、今年同様に、式典を中止し、記念品の配布及び写真撮影の場所の提供となることも考えられ、感染状況や国・県の動向に注視し、慎重に判断していくとの説明があった。

日程第2（議案第15号）市指定文化財候補の調査実施に係る熊谷市文化財保護審議会への諮問について

文化財保護・市史編さん担当副参事から、「熊谷家関連資料」、「村岡の渡し船」、「集福寺伽藍」、「石坂家邸宅・庭園」の4件について、熊谷市文化財保護条例第4条及び熊谷市文化財保護審議会規則第2条に基づき、熊谷市文化財保護審議会に対し、指定文化財候補として調査、審議することを諮問してよいか伺う旨の説明があった。

なお、各々の物件の調査員は、専門分野に鑑み、文化財保護審議会委員兼文化財専門調査委員を予定しているとの説明があった。

（議案は原案どおり可決）

（その他）後援等承認決定した事業一覧について

教育総務課長から、3月16日から4月15日までに後援等承認決定した事業について報告があった。

（その他）「国指定史跡幡羅官衙遺跡群保存活用計画」等の刊行について

文化財保護・市史編さん担当副参事から、国指定史跡である幡羅官衙遺跡群の将来に亘る保存及び活用方法を示した「国指定史跡幡羅官衙遺跡群保存活用計画」の刊行について説明があった。その他、「熊谷市史 調査報告書 中世の石造物」、「熊谷市史研究 第13号」についても、このたび刊行になった旨の報告があった。

（その他）コロナ禍における学校行事等の対応について

学校教育課長から、コロナ禍における学校行事等の対応について、一部校外事業の中止や、宿泊を伴う修学旅行や林間学校は日帰りでの実施とする旨の説明があった。

他に報告はなく、教育長の宣言により、令和3年5月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

(14時15分 閉会)

署名 教育長 野原 晃 _____

委員 松島 佳代子 _____